

2019 年度実施大学院修士課程入学試験（2019 年 9 月入学および 2020 年 4 月入学）の  
土木・環境工学系 B 日程試験（筆答試験）の変更について

2019 年 8 月実施予定の大学院修士課程入学試験では、土木・環境工学系の B 日程試験（筆答試験）を以下の通り変更します。

1. 午前の試験を建築学系と分けて実施します。

- 2018 年度（平成 30 年度）実施の入学試験までは、午前の試験問題を「建築学系、土木・環境工学系（共通科目）」として出題していました。2019 年度実施の入学試験からは、建築学系と分けて試験を実施するため、2018 年度実施の入学試験までであった問題 I（建築学）、問題 III（都市学）、問題 IV（小論文）は選択できなくなります。
- 2018 年度実施の入学試験まで「建築学系、土木・環境工学系（共通科目）」の問題のひとつとして出題していた「問題 II（土木・数理学）」を「基礎科目（土木・環境工学系）」として出題します（全問解答）。
  - 出題範囲（常微分方程式、線形代数、偏微分方程式、確率統計）、試験時間（1.5 時間）に変更はありません。
  - 出題内容については、2016～18 年度（平成 28～30 年度）の建築学系、土木・環境工学系（共通科目）の「問題 II（土木・数理学）」、2015 年度（平成 27 年度）以前の土木工学専攻の「専門科目（午前）」を参考にしてください。

2. 数理学科目を廃止します。

- 土木・環境工学系では、2018 年度（平成 30 年度）実施の入学試験までは、午後の試験問題として、「土木・環境工学科目」と「数理学科目」を出題していました。
- 2019 年度実施の入学試験からは、「数理学科目」を廃止し、その一部を「土木・環境工学科目」に含めた上で、「専門科目（土木・環境工学系）」として出題します。

3. 午後の試験問題の出題分野と出題・解答問題数を変更します。

- 2019 年度実施の入学試験からは、午後の試験問題を「専門科目（土木・環境工学系）」として出題します。
- 出題分野は、2018 年度（平成 30 年度）実施の入学試験まで出題していた「構造力学」「水理学」「土質力学」「コンクリート工学」「土木計画学」の 5 分野に、「数理学」を加えた 6 分野となります。
  - 出題範囲・内容については、従前からの 5 分野については、2016～18 年度（平成 28～30 年度）の土木・環境工学科目、2015 年度（平成 27 年度）以前の土木工学専攻の「専門科目（午後）」を参考にしてください。「数理学」については、2016～17 年度（平成 28～29 年度）の数理学科目の問題 1～2、2015 年度（平成 27 年度）以前の人間環境システム専攻の「専門科目（午後）」の「防災安全分野」の問題を参考にしてください。
- 出題問題数は、2018 年度（平成 30 年度）実施の入学試験までは各分野 2 問の計 10 問でしたが、2019 年度実施の入学試験からは、各分野 1 問の計 6 問となります。また、2018 年度（平成 30 年度）実施の入学試験までは 10 問中 5 問解答でしたが、2019 年度実施の入学試験からは、6 問中 3 問解答となります。なお、試験時間は 3 時間から 2 時間となります。

※建築学系との試験問題の相互利用は継続します。

- 土木・環境工学系で提供する試験科目は、午前の「基礎科目（土木・環境工学系）」と午後の「専門科目（土木・環境工学系）」になりますが、2019 年度実施の入学試験においても、従前と同様、志望教員が指定する場合は、建築学系の試験科目を受験することができます。
  - 建築学系も 2019 年度実施の入学試験から B 日程試験を変更します。詳細については、建築学系が提供する情報を確認ください。

【参考】

○従前

午前（共通科目，1.5時間）	午後（専門科目，2～4時間）	
建築学系と 土木・環境工学系の 共通科目 (I: 建築学, II: 土木・数学, III: 都市学, IV: 小論文 から一つ選択)	土木・環境工学系	C: 土木・環境工学科目（構造力学, 水理学, 土質力学, コンクリート工学, 土木計画学から10問出題, 5問解答. 3時間）
		M: 数理学科目（応用数学, 地震学, 流体・熱力学, 応用力学から8問出題, 4問解答. 2時間）
	建築学系	A: 建築デザイン科目（即日設計. 4時間）
		B: 建築学科目（建築計画, 建築構造・構造力学, 建築環境・設備工学, 建築材料・施工の4分野から1分野選択. 2時間）
		U: 都市学科目（都市／公共政策, コミュニティ・デザイン／まちづくり, 景観／観光の3分野から2分野選択. 2時間）

※ 志望する教員が指定する科目を受験（志望する教員によっては建築学系の科目も選択可能）.

○2019年度から

午前（共通科目，1.5時間）	午後（専門科目，2～4時間）	
土木・環境工学系	基礎科目（従前の午前の共通科目IIと同じ出題範囲・内容. 全問解答）	専門科目（構造力学, 水理学, 土質力学, コンクリート工学, 土木計画学, 数理学から6問出題, 3問解答. 2時間）
建築学系	共通科目 (I群から2問, II群から2問解答. I群: 歴史・意匠, 都市・まちづくり, 建築環境・設備工学 II群: 建築計画, 建築構造・構造力学, 建築材料・施工)	A: 即日設計 (4時間)
		B: 建築学科目（建築計画, 都市・まちづくり, 建築構造・構造力学, 建築環境・設備工学, 建築材料・施工, 歴史・意匠（小論文）から1分野選択. 2時間）

※ 志望する教員が指定する科目を受験（志望する教員によっては建築学系の科目も選択可能）.

※ 午後に土木・環境工学系の専門科目を受験する場合は, 午前中に土木・環境工学系の基礎科目を受験する必要があります.

※ 午後に建築学系の即日設計, 若しくは, 建築学科目を受験する場合は, 午前中に建築学系の共通科目を受験する必要があります.

○過去問題 [https://www.titech.ac.jp/graduate\\_school/admissions/past\\_exam\\_papers.html](https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html)

○建築学系 <https://educ.titech.ac.jp/arch/>